

2022年9月28日
東京電力ホールディングス株式会社
福島復興本社

福島復興本社における
賠償・環境再生・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

- 原子力損害賠償の進捗状況 _____ 1 ～ 2
- 福島復興へ向けた取り組み _____ 3 ～ 7

原子力損害賠償の進捗状況について

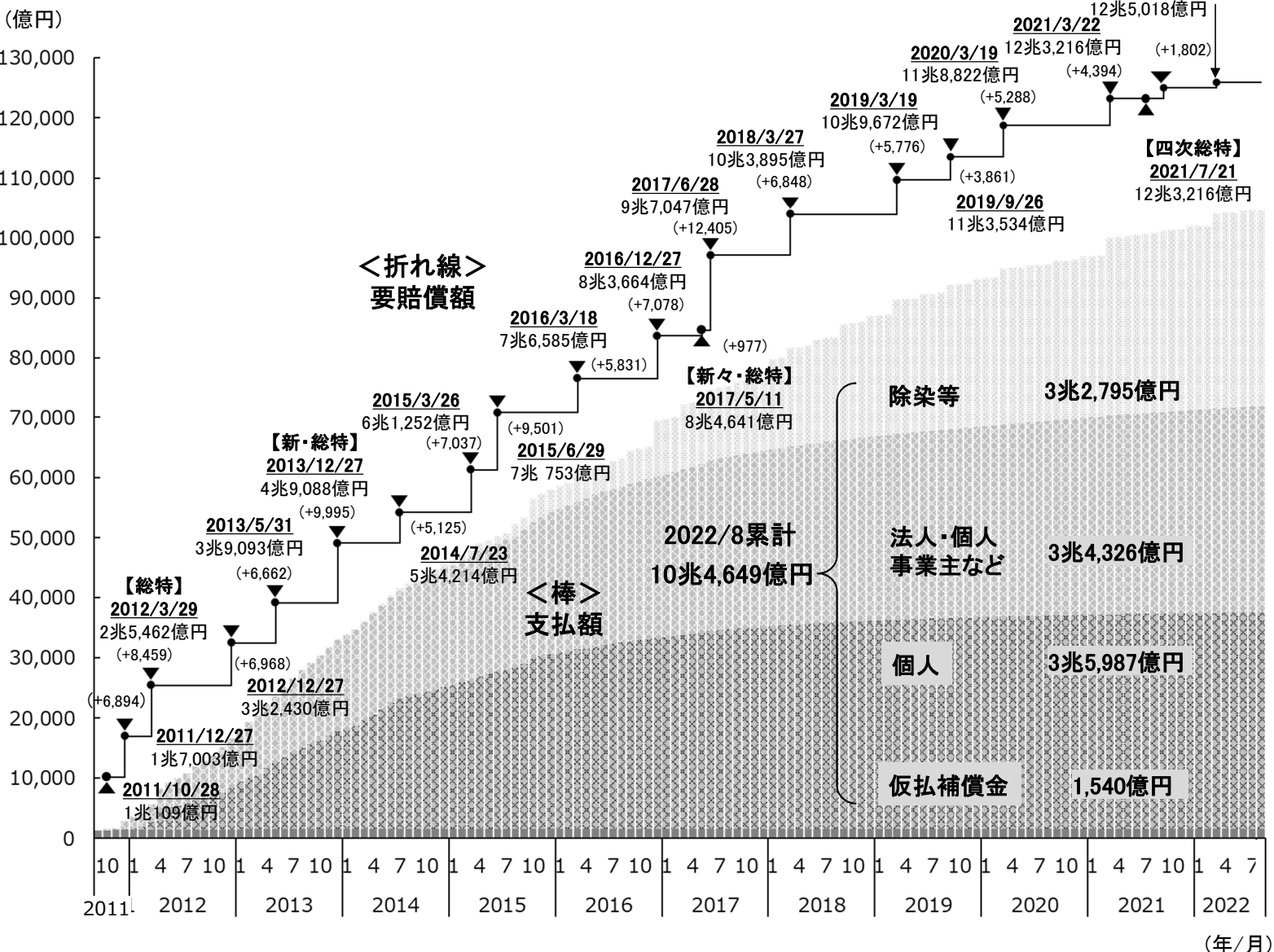
<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

2022年8月31日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,452,000件	約541,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,315,000件	約464,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆5,987億円	約6兆7,121億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約10兆3,109億円 ①
仮払補償金		約1,540億円 ②
お支払い総額		約10兆4,649億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (2022年3月22日資金援助額変更申請)	賠償合意実績* (2022年8月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,834億円	20,112億円
検査費用等	3,493億円	2,825億円
精神的損害	10,995億円	10,950億円
自主的避難等	3,624億円	3,624億円
就労不能損害	2,721億円	2,711億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	33,057億円	31,894億円
営業損害	5,594億円	5,503億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	19,526億円	19,241億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,320億円	2,625億円
間接損害等その他	4,617億円	4,524億円
III. 共通・その他	22,484億円	19,836億円
財物価値の喪失又は減少等	15,447億円	14,766億円
住居確保損害	6,787億円	4,819億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等※2	49,488億円	32,795億円
合計	125,865億円	104,638億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 83%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 (精神的損害・就労不能等に伴う損害・検査費用・避難・帰宅、一時立入費用・生命、身体的損害等)	9月:法人本賠償 (営業損害・出荷制限指示等による損害・風評被害・間接損害等)
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

2022年9月7日現在

申立件数	28,442件
解決件数	27,419件
全部和解件数	21,851件
取下げ件数	3,128件
打ち切り件数	2,438件
却下・和解の仲介をしない	2件
現在進行中の件数	1,023件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは28,442件(9月7日現在)、月平均で約99件(2022年)

出典:原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※現在進行中の件数のうち、11件は一部和解が成立している

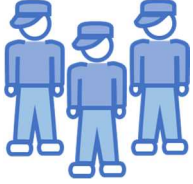
※和解金額は約3,444億円

福島復興へ向けた取り組み

福島復興へ向けた取り組み実績

■ 2022年8月までの実績

環境再生・復興推進活動



活動人数
1,068,783人
(前月比+5,253人)

復興本社設立(2013年1月)からの累計

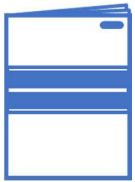
環境再生・復興推進活動



対応件数
3,059件/年度*
(前月比+511件)

※2022年度の累計

原子力損害賠償



賠償お支払総額
約 10兆4,649億円
(前月比+71億円)

流通促進活動



イベント開催日数*
20,644日
(前月比+1,381日)

ふくしま流通促進室発足(2018年2月)からの累計
※イベント開催・・・試食販売会・飲食店フェア等

■ 環境再生・復興推進活動の業務別割合



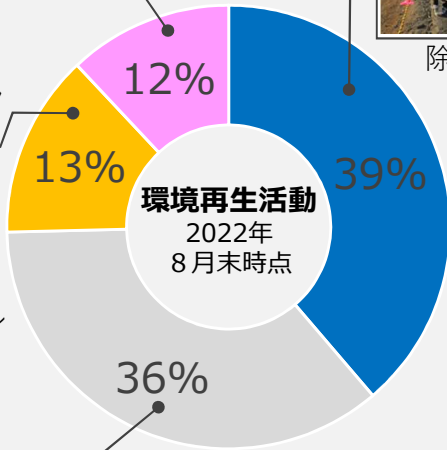
環境回復・コミュニケーション



廃棄物・リサイクル



中間貯蔵



除染



イベント対応



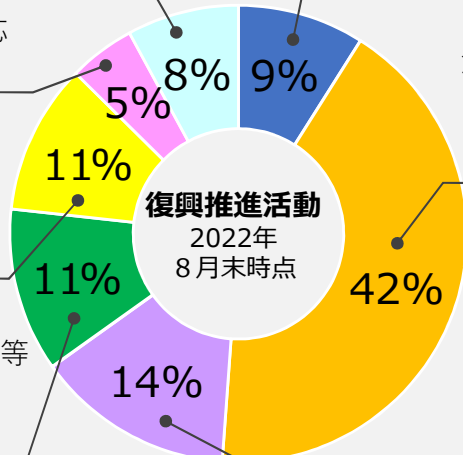
放射線管理



見回り・ご依頼等



営農再開



清掃・片付け



除草



一時帰宅対応

■ 今後の主な活動予定

【凡例】【環】・・・環境再生活動 【復】・・・復興推進活動 【流】・・・流通促進活動 【他】・・・その他

【復】10月地域行事・イベントへの協力

【流】10月の福島県産品販売会の主な開催予定(①～⑦)

〔小売店催事〕

①松坂屋上野店 様	10月12日(水)～ 25日(火)	⑤大丸東京店 様	10月26日(水)～ 11月15日(火)
②東急百貨店二子玉川 様	10月13日(木)～ 19日(水)	⑥シャポー船橋店 様	10月28日(金)～ 30日(日)
③小田急百貨店(町田/藤沢店) 様	10月14日(金)～ 16日(日)	⑦スーパーマート 様	10月29日(土)～ 31日(月)
④スーパーマーケット リオン・ドール 様	10月14日(金)～ 17日(月)		

福島復興へ向けた取り組み①

雑草抑制・景観向上のためのカバープランツ共同調査の続報 ～ご帰還の促進に向けて～

【これまでの取り組み（2020年10月～2021年8月）】

- 除染・解体作業完了後の土地は、保全作業が行き届かない場合、雑草が繁殖し景観が損なわれることがあります。
- 2020年10月より、浪江町と共同で13品種のカバープランツ※による「雑草抑制効果」「景観向上効果」の調査を開始しました。
- このうち一部の品種において、良好な生育状況であることを確認しました。

※「カバープランツ」

地表を覆うように生育する植物の総称で、茎や枝を横に伸ばして地面などを低く薄く覆うため、土壌の乾燥や土の流出、雑草を防ぐ効果があり、庭園・公園・造園・園芸に広く用いられる植物

【今回の取り組み（2021年9月～2022年8月） 越冬による生育状況の調査結果】

- 11品種について、越冬による生育状況の確認をしました。
- このうち4品種において、越冬後の生育状況や景観も良好なことが確認でき、地表を覆うグランドカバーとして期待できることが分かりました。

4品種：バースフットレフォイル、クラピア、クリーピングタイム、・ロンギカウリスタイム



越冬

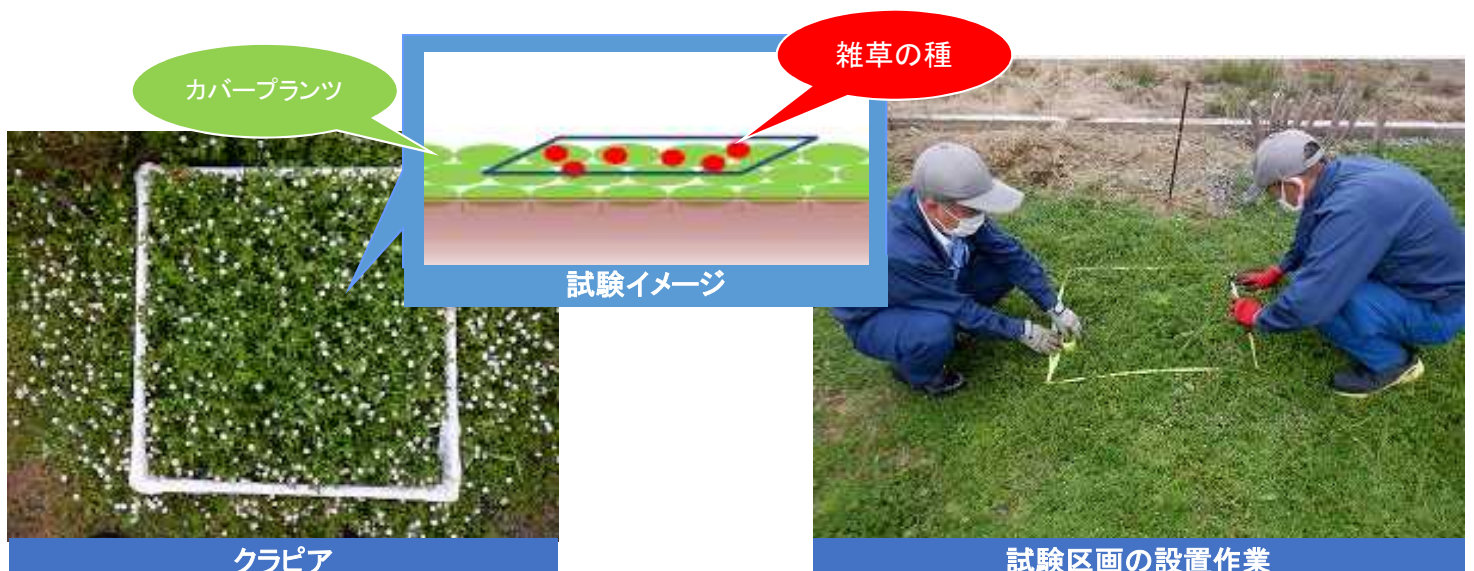


繁茂風景



【今後の取り組み（2022年9月～）】

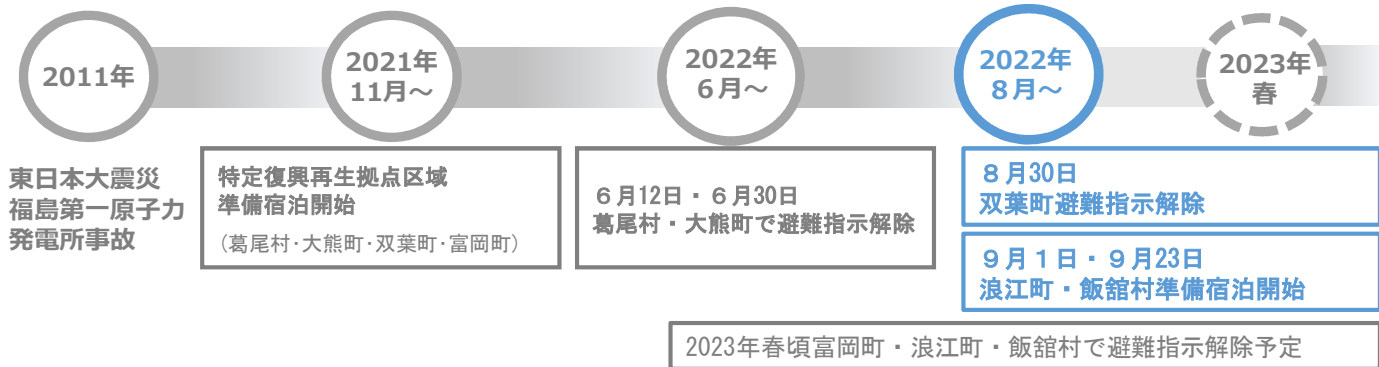
- これまでの生育状況調査から絞り込んだバースフットレフォイルやクラピアなど4品種について、繁茂させた場所に雑草の種をまき、雑草の繁殖が抑制されるか確認していきます。



福島復興へ向けた取り組み②

「特定復興再生拠点区域」の避難指示解除に向けた取り組みのお手伝い

- 双葉町では、8月30日に「特定復興再生拠点区域」の避難指示が解除されました。また、9月1日に浪江町、23日には飯館村にて準備宿泊が開始されました。
- 当社は、「特定復興再生拠点区域」の避難指示解除された地域や今後予定されている地域でご帰還が進むよう、お手伝いを継続してまいります。



特定復興再生拠点区域における自治体の動きと当社の取り組み状況

黒字: 当社の取組

双葉町

- 8月27日
★双葉町役場新庁舎開庁
(9月5日業務開始)



- 8月30日
★避難指示解除
・「見回り活動※1」の継続実施

- 9月23日
「ふたばワールド2022」のお手伝い



浪江町

- 8月14日
「2022なみえ夏まつり」花火大会
のお手伝い

- 9月1日
★準備宿泊開始
・「かけつけ隊※2」の継続実施



- 9月17～18日
「東北五大やきそばサミットin
なみえ」のお手伝い



飯館村

- 7月15日
「第11回村民グラウンド・ゴルフ
スポーツ交流会」のお手伝い

- 7月30日
「はやま湖花火大会2022」の
お手伝い



- 9月23日
★準備宿泊開始
自治体とご相談のうえ活動予定

※1 見回り活動: 当社が町村内を巡回し地域の方々にお声がけし、除草や片付けなどのお手伝いを実施
※2 かけつけ隊: 地域の方々からお困りごとなどのご連絡をいただき、当社が訪問し除草や片付けなどのお手伝いを実施

■ 2023年春 ★避難指示解除予定

● 特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された大熊町・葛尾村、避難指示解除を予定している富岡町においても復興推進活動を継続しています。

福島復興へ向けた取り組み③

福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催 10月予定～



「発見! ふくしまキャンペーン」 ～あがらんしょ 秋の恵みの大感謝祭～

開催期間 10/15日(土) ▶ 12/16日(金)

- 首都圏や福島県内の小売店における販売促進イベントや飲食店とコラボした福島県産品グルメフェアなど、さまざまなイベントを展開し、福島県産品の美味しさや魅力をお伝えしてまいります。
- 詳細については、別途お知らせいたします。



キャンペーン特設サイト (イメージ)

■ LIVE AZUMA 2022 in あづま総合運動公園

開催期間 10/15日(土) ▶ 10/16日(日)

- 福島県営あづま総合運動公園(福島市佐原神事場)で初開催される大規模参集型音楽イベント「LIVE AZUMA 2022」と連携し、会場にてキッチンカーの出店やマルシェを開催いたします。

「発見! ふくしま」
キャンペーンスタート!



肉厚あんこうと会津味噌タルタルの究極フィッシュバーガー



音楽イベントと連携



福島県営あづま球場

※写真はイメージです

■ PLAY PARK FUKUSHIMA IN 四季の里イベント

開催期間 10/22日(土) ▶ 10/23日(日)

- 四季の里にて、キッチンカーの出店やマルシェを開催いたします。
- 今回は、「発見! ふくしま」キャンペーンオープニングイベントを同時に開催いたします。



好評につき3回目の開催



キッチンカーやマルシェ出店

オープニングイベント
同時開催



※写真はイメージです

福島復興へ向けた取り組み④



福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催実績～

■ 海の幸まつり in 道の駅ふくしま (9/3～4)

- 道の駅ふくしま(福島市大笹生)にて、相馬市観光協会様や福島水産様と連携し、「常磐もの」を中心とした福島県産品をバーベキューなどで味わっていただく海の幸イベントを開催しました。
- フードコートでは、「常磐もの」を使用した「発見! ふくしま」コラボメニューを販売しました。
- 2日間延べ1万5千人の来場者様に福島県産品の美味しさや「発見! ふくしま」をPRしました。

「発見! ふくしま」
バーベキュー初開催!



浜焼き同時開催!



コラボメニュー大好評!



福島牛のローストビーフと
常磐ものにぎりセット



「常磐もの」や「福島牛」等のバーベキュー食材

■ タイ・バンコクでのふくしまの桃イベント (8/11～25)

- JA全農福島様と連携し、タイ・バンコクの高級百貨店やスーパー5店舗にて、桃の販売イベントを開催しました。
- 15日間で約5.5トンの桃を販売し、福島県産品の美味しさや魅力をお伝えしました。

「発見! ふくしま」
海外初開催!



イメージ画像



■ 「発見! ふくしま」食べて贈ってふくしまの桃・IPPINまつり2022の結果報告

6月1日～8月31日まで開催しておりましたECサイトキャンペーンでは、「桃」を中心に全国各地の皆さまにお買い上げいただきました。

販売点数: 約**16,000**点※ (対2020年比約**2**倍)

※ キャンペーンを開始した年

